

特進クラス1期生の仲間たちと



## 学校 レポーターズ コラム

### 「受験について思うこと」

川根高等学校3年  
かずな 千澤一菜

わたしは1年生のころ、進路についてあまり真剣に考えていなかった。昔から絵を描くことが好きだったので「デザイン系の専門学校か大学に行ければ」くらいにしか考えていなかった。

しかし、修学旅行でタイに行き、その考えは大きく変わった。自分の国とは違う文化に触れた経験によって、さまざまな文化・慣習についてもっと知りたいと思うようになったのである。これがきっかけで、わたしはいつしか国際系の学部がある大学に興味を持つようになっていた。

進路が明確になってからは、受験勉強を本格的に開始した。わたしは、面接と小論文で合否が決まる推薦試験を受けようと思っていた。だが、学力がふさわしくないまま県立大学の推薦試験を受けるのは、意味がないと考えていた。そこで、夏休み中は推薦試験の勉強はほとんどせず、朝から夕方まで図書館に行き、学校の授業のように予定をたてて勉強した。これにより、効率よく勉強することができたと思う。また、50分勉強するごとに10分間休憩を入れたことで、集中力を持続させること

もできた。

夏休み明けの模試では満足のいく結果を出せるようになり、推薦試験への自信もついたと思う。

#### 試験当日

の朝は、あまり緊張していなかった。しかし面接では、練習とは違って、わたしの答えを最後まで聞かないうちにどんどん次の質問をされてしまい、とてもあせった。自分の考えを伝えようと必死だったが、あまりに練習どおりにできなかつたため「絶対に落ちた」と悲観的にもなった。このためインターネットによる合格発表で自分の番号を見つけたときは本当にうれしかった。

#### 受験を通して、わたしは努力を継続させることの大切

さを実感した。また、「受験は孤独なもの」とよくいわれるが、それは違うということも実感した。なぜなら、わたしが最後まで努力できた影には常に、合格のために試験直前



までサポートしてくださった先生方や、弱気になったときに応援してくれた友達、さまざまな場面で支えてくれた親などがあつたからである。わたしは大学に行つてからも、この経験や感謝の心を忘れず、頑張っていきたい。

これから大学受験を経験する人は、今ほとにかくさまざまな経験をするのが大切だと思う。わたしが高校の修学旅行で進路のきっかけを見つけたように、ささいな事が進路決定のきっかけになるかもしれないからである。

これから4年かけて、じっくりと自分がやりたいことを見つけていきたい。わたしは、大学では多くのことに挑戦し、大学生活を充実させていきたいと思つている。

### 川根本町の人口

平成21年2月1日現在

世帯数	3,082 世帯(-9) 【45】	出生	4人【0】
総人口	8,798人(-29) 【68】	死亡	16人【0】
男性	4,304人(-15) 【15】	転入	6人【0】
女性	4,494人(-17) 【53】	転出	23人【4】

※ ( )内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動  
※外国人の数を含む

今月の納期  
本庁税務課  
☎ (56) 2223

●国民健康保険税  
●水道使用料

第12期分  
第6期分

納期限は3月31日です。口座振替の人は3月31日に引き落とされますので、残高の確認をお願いします。